

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	長期療養者等就職支援実施費	担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	—	担当課室	首席職業指導官室	首席職業指導官 伊藤 正史			
会計区分	労働保険特別会計 雇用勘定	施策名	II-1-1: ハローワークの需給調整機能の強化、労働者派遣事業の適正な運営確保により、労働力需給のミスマッチ解消を図る。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハローワークにおいて、がん、肝炎、糖尿病等の長期の治療が必要な疾病を持つ求職者に対して医療機関等と連携した専門性の高い就職支援を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大都市圏のハローワークにおいて、就職支援ナビゲーターを配置し、がん診療連携拠点病院等における就労に関する相談支援・情報提供モデル事業(健康局実施)と相まって、がん診療連携拠点病院等と連携した離職を余儀なくされたがん患者等に対する就職支援のモデル事業を実施し、出張相談等を含むきめ細かな就職支援、職場定着の支援を行うとともに、がん患者等の就職支援に関するノウハウや知見の蓄積を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					27
		補正予算					
		繰越し等					
		計					27
		執行額					
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	予算編成過程において検討	成果実績	%				
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	予算編成過程において検討	活動実績 (当初見込み)					
単位当たりコスト		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	—	16				
	委員等旅費	—	1				
	庁費	—	10				
	計	—	27				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	長期の治療が必要な疾病を持つ求職者に対して医療期間等と連携した就職支援を行うものであり、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	まず5カ所程度で先行実施して就労支援のノウハウを蓄積した上で、全国の医療機関と連携を図ることを検討しているため、国において実施する必要がある。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>長期の治療が必要な疾病を持つ求職者に対して医療機関等と連携して就職支援を行う事業であり、平成24年6月に実施された厚生労働省「提言型政策仕分け」においても、「病気の診断を受けてすぐに就労に関する相談を受けられるような体制や連携体制の整備」の推進が提言されているなど、優先度が高い事業であるため、効果的かつ効率的に事業を実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-	<p>医療提供体制の向上等により、長期療養者に対する適切な治療のみならず、生きがいや生活の安定のための就労支援が重要となってきたが、ハローワークにおいて、医療機関等と連携した専門性の高い就職支援が必ずしも実施されてはならず、さらには、平成24年6月に実施された厚生労働省「提言型政策仕分け」においても、「病気の診断を受けてすぐに就労に関する相談を受けられるような体制や連携体制の整備」の推進が提言されていることから、優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					